

令和元年度第3回国際理解コース1年生大学模擬授業

令和元年10月17日(木)に、南山大学国際教養学部国際教養学科の鹿野 緑教授をお招きし、第3回国際理解コース大学模擬授業を体験しました。「Globalized World を考える-外国人の受け入れと日本社会における Diversity」という題で、基本的に英語で講義が進みました。「グローバル化がもたらす良い点、悪い点」、「社会の中で多様性を受け入れる心づもりが必要であること」を楽天の社長の取組を例として学びました。また、生徒の感想には、『「英語が好き」だけでとどまらず、「英語を使って何かを学ぶ」ことへの目標レベルアップを考えるべきだと思った。』や、「そのためには英語を中途半端でなく極めること、そして、日本の中では英語が少しできればちやほやされるが、世界に出たらそれは通用しないからもっと頑張らねばならない。」などがあり、国際理解コースとしての自覚が芽生えたようです。

